

第3次東金市地域公共交通計画の事業進捗について

第3次東金市地域公共交通計画取組一覧	R6年5月現在進捗状況	今後の取組予定
方向性1 地域の実情に対応した移動手段の確保・維持		
【取組項目1-1】中心市街地への効率的な移動手段の確保 ○中心市街地までの移動手段の確保 ○地域輸送資源の活用	・公共交通事業者や関係者と定期的な意見交換会の場を設けて、効率的な運行方法を検討した。（取組項目1-2、1-3にて記載） ・民間企業の送迎バス等について、運行や運用状況に関する情報収集を行い、実現可能性について検討した。	・公共交通事業者との意見交換の場を設けて、引き続き検討を行う。（取組項目1-2、1-3にて記載） ・民間企業の送迎バス等について、運行や運用状況に関する情報収集を行い、実現可能性について継続的な検討を行う。
【取組項目1-2】路線バス・市内循環バスのルート・ダイヤの見直し ○路線維持のためのルート・ダイヤの見直し ○「市内循環バス運行基本指針」に基づく評価の実施	・市・交通事業者・循環バス推進委員会で課題を共有し、運行の見直しへ向けた協議を行った。 ・利用実態を分析し、循環バス推進委員会にて共有し、利用者ニーズに応じた運行方法の見直しや利用状況の改善に向けた取組を行った。	・循環バス推進委員会にて運行の見直しをすることとなった場合、必要な手続きを行い、試行運行を行う。 ・年度ごとに利用実態を分析し、循環バス推進委員会にて共有し、利用者ニーズに応じた運行方法の見直しや利用状況の改善に受けた取組を行う。
【取組項目1-3】乗合タクシーの効率化を図るための運用方法の見直し ○利用方法等の見直しと周知徹底 （「当日キャンセル」、「予約不成立」について） ○乗合率の向上のための見直し ○高齢者・福祉施策との連携による利用体系の整理	・当日キャンセルした者にはオペレーターによる注意喚起を継続して実施した。また、当日キャンセルの多い利用者については、職員からも直接指導した。 ・「当日キャンセル」、「予約不成立」の課題について、予約システムの運用の見直しについて、周辺市町の事例研究や、システム会社との調整を行った。 ・配車システムの見直しについて、システム事業との調整を行った。 ・市の高齢者・福祉部門との連携を行い、左記の外出支援策と乗合タクシーとの役割を整理し、それぞれの事業に応じた移動手段などを窓口へ来た方へ案内した。	・注意喚起・直接指導については継続的に行う。 ・「当日キャンセル」、「予約不成立」の課題については、「予約回数の上限設定」などの取組の実施に向けて、有識者を交えて検討する。
方向性2 外出の利便性の向上につながる交通手段の確保		
【取組項目2-1】中心市街地での回遊性の向上 ○中心市街地を周回する移動手段の導入	・まちづくりの拠点となる駅に加え、公共施設、商業施設、医療機関を周回する新たな移動手段について検討した。	・新たな移動手段について、引き続き検討し、バス・タクシー事業者を含め協議する。
【取組項目2-2】気軽に外出できるサービスの提供 ○高齢者や障がい者が利用しやすい環境づくり ○妊婦や子育て世代が利用しやすい環境づくり ○電子決済サービスの導入推進	・JR東金駅東口改札の供用開始と同時に、駅のエレベータ付き跨線橋を譲り受け、自由通路とすることでバリアフリー化された東西の往来が可能となるようにJRと協議を行い、東金駅に関する基本協定と設計協定を締結した。（R8.4 供用開始予定） ・陣痛タクシー制度のPRなどについて検討した。 ・ＩＣカード等の電子決済サービスの導入について、関係機関から要件・制度等の情報収集を行い、公共交通事業者と検討した。	・JR東金駅東口改札の設置及びエレベータ付き跨線橋の自由通路化をJRと協議しながら進めていく。 ・陣痛タクシー制度について、PR方法等引き続き検討する。 ・ＩＣカード等の電子決済サービスの導入について、交通事業者と共に引き続き検討する。

第3次東金市地域公共交通計画取組一覧	R6年5月現在進捗状況	今後の取組予定
【取組項目2-3】市外への移動の利便性の向上 ○JR東金線、高速バスの運行サービスの維持・向上 ○鉄道・バスの乗継ダイヤの調整 ○乗合タクシーの市外乗降場の設置、市内循環バスと隣接市のコミュニティバスとの乗継に向けた検討	- 運行サービスの維持・向上、ダイヤ調整については、公共交通事業者と意見交換の場を設けて協議・検討を行った。 - 乗合タクシーの市外乗降場の設置の検討や市内循環バスと隣接市のコミュニティバスとの乗継を可能とする運行方法について、周辺市町と意見交換を行った。	- 引き続き、公共交通事業者と意見交換の場を設け、協議・検討を行う。 - 市外乗降場やコミュニティバスの乗継については、周辺市町と意見交換を行う。
方向性3 駅やバス停の案内・利用環境の充実		
【取組項目3-1】駅・バス停の案内・利用環境の充実 ○バス・タクシー乗り場までの案内の充実 ○駅舎内や商業施設・医療機関におけるバス利用案内の充実 ○駅施設のバリアフリー化の推進	- 駅の利用環境を充実させるために、JR東金駅東口改札の供用開始と同時に、駅のエレベータ付き跨線橋を譲り受け、自由通路とすることでバリアフリー化された東西の往来が可能となるようにJRと協議を行い、東金駅に関する基本協定と設計協定を締結した。(R8.4供用開始予定) - 東口改札の設置を契機に、バスやタクシーなどの2次交通の利用環境の充実させるための検討を行った。	- JR東金駅東口改札の設置及びエレベータ付き跨線橋の自由通路化をJRと協議しながら進めていく。 - 引き続き、バスやタクシーなどの2次交通の利用環境の充実させるための検討を交通事業者を含め行う。
方向性4 外出スタイルの転換促進		
【取組項目4-1】市内公共交通全体の情報・わかりやすさの充実 ○わかりやすい公共交通マップの作成 ○イベント等における市内公共交通のPR ○インターネット等を活用した運行情報のオープンデータ化や情報提供の強化	- 交通マップや公共交通のPRイベントについて、他自治体を参考にしながら検討を行った。 - 乗換案内サービス提供サイト「NAVITIME」へ市内循環バスの情報を掲載した。 - オープンデータ化については事業者に情報を提供しながら検討を進めた。	引き続き、交通マップやオープンデータ化の検討を行う。
【取組項目4-2】乗合タクシーの認知度の向上 ○イベント等による乗合タクシーのPR ○高齢者等への出前講座、体験乗車券の配布	乗合タクシーについての出前講座を行い、乗合タクシーの認知度の向上を図った。	積極的に出前講座を行っていく。
【取組項目4-3】モビリティ・マネジメントへの挑戦 ○市民全体へのクルマ利用見直しのPR ○公共交通を利用する意識を育む取組の推進	- BBBASE、駅からハイキングなど公共交通の利用を促進するイベントを行った。 9月20日の「バスの日」に合わせて、広報とうがねに公共交通の利用促進のための記事を掲載した。	- BBBASE、駅からハイキングなど公共交通の利用を促進するイベントを行う。 - 広報とうがね等に公共交通の利用促進のための記事を掲載する。
方向性5 新たな移動サービスの創出や企画等の立案		
【取組項目5-1】公共交通と商業・観光振興とのソフト的な連携 ○商店街や観光施設と連携した利用促進策の企画・立案	東金駅東口改札の新設を契機とした駅周辺の今後のまちづくりについて、関係部署による横断的な会議により検討を行った。	引き続き、関係部署による庁内会議により検討を行い、商店街や観光施設と連携した利用促進策の検討を行う。
【取組項目5-2】乗り継ぎ拠点の整備に向けた調査 ○乗り継ぎ拠点の整備に向けた調査の実施	庁内の企画政策部と都市建設部が連携して立ち上げた乗り継ぎ拠点プロジェクト会議により乗り継ぎ拠点の検討を行った。	引き続き、乗り継ぎ拠点プロジェクト会議により乗り継ぎ拠点の検討を行う。